

令和6年3月29日

君津市議会議長 小倉 靖幸 様

令和新政 会長 奈良輪 政五

会 派 視 察 報 告 書

令和新政 視察報告書を次のとおり提出いたします。

- 1 期 日：令和6年3月28日（木）
- 2 視察地：千葉国道事務所 （千葉県成田市川上245）
鍋店株式会社 神崎酒造蔵（千葉県香取郡神崎町神崎本宿1916）
- 3 視察場所及び内容
 - （1）千葉国道事務所
 - ・圏央道大栄JCT～松尾横芝間の工事概要及び進捗状況について
 - （2）鍋店株式会社 神崎酒造蔵
 - ・酒蔵まつりについて
- 4 参加議員
三浦章、小倉靖幸、鶴岡一成、小倉広紀 4名
- 5 交通機関
貸切小型バス

千葉国道事務所

日 時：令和 6 年 3 月 2 8 日（木） 午前 1 0 時 0 0 分～

出席者：国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 課長

東日本高速道路株式会社 関東支社 千葉工事事務所 千葉北工事長

1 概 要

- ・圏央道計画延長 約 300 k m（開通距離：約 270 k m、進捗率 90%）

圏央道は、都心を中心にして円を描くようにつくられており、長さ約 300 k m の環状道路である。圏央道は東京湾アクアラインと一体となり、主要幹線道路と接続し、首都圏の広域的な道路のネットワークを形成する。

完成すると、地域の活性化と首都圏の調和のとれた発展に大きな役割を果たす。

2 調査事項

圏央道大栄 JCT～松尾横芝間の工事概要及び進捗状況について

①事業概要

圏央道整備による千葉県の効果として、以下の点を見込んでいる。

- ・広域ネットワークの形成
⇒成田空港エリアと羽田空港エリアを結ぶ新たなルートを形成
- ・災害時の道路ネットワークの強化
⇒圏央道の開通により、災害時のネットワークを強化
- ・観光支援
⇒観光地までのアクセス向上
- ・医療圏域の拡大
⇒第三次救急医療施設へのアクセス向上

※令和 8 年度の開通を予定している。

中央環状線、外環道、圏央道の 3 環状道路を整備することにより、都心をただ通過するだけの交通を排除し、都心近郊の交通を適切に分散化することにより、首都圏の渋

滞を緩和することで、CO2 排出量の低減にも繋がる。

首都圏三環状道路の整備状況		
	計画距離	進捗
中央環状線	約 47 k m	約 47 k m (100%)
外環道	約 85 k m	約 50 k m (60%)
圏央道	約 300 k m	約 270 k m (90%)

②事業の成果と課題

物流交通は圏央道を利用しており、集計断面以东（東金 JCT～山武成東 IC の間を集計断面として）の沿線自治体の製造品出荷額等は近年増加傾向で推移しており、圏央道の整備によって市場へのアクセスが向上し産業の活性化に寄与している。また、道路交通の円滑化や企業活動の生産性の向上、防災力強化等にも寄与している。

課題としては、千葉県内圏央道事業の基本計画決定で最も決定が早かった平成元年 8 月から 30 年以上の年数が経っている。

3 各委員からの質疑等

Q：圏央道 現工事区間の開通により、圏央道交通量の増加をどの程度見込んでいるか。

A：君津市への影響という点における、木更津東から木更津間での話となるが、令和 3 年度の実績が 13,267 台であった。全線開通の際は、ここが 28,100 台程度と見込んでいる。

Q：館山道、国道 410 号等を通じ、南房総への人の流れ、車の流れがどの程度増え、君津市を含む南房総の発展の可能性がどのように広がると考えているか。

A：基本的な考え方として資料のとおりとなる。基準地価格の上昇に伴う固定資産税の増加、沿線地域の産業集積、ポテンシャル発揮をバックアップ、物流効率化、農林水産物の輸出支援、災害時における代替路確保等。

Q：アクアラインにもう一本トンネルが掘れるスペースがあるという報道があったが、実現の可能性はあるか。

A：特に把握していない。

Q：盛り土が今と昔で異なるとのことであったが、耐力性や地震の災害時においてどれだけ差があるのか。

A：管理に差がある。現地の地盤状況によるので、盛り土でどうこういった話ではない。
耐震基準においては現在も変わっていない。

Q：ある程度の地震には耐えられるということか。

A：基準に従い施工している。

A：阪神淡路大震災を踏まえ、随時基準は見直されている。大きな災害があった際には都度見直しの検討をしている。

Q：ドローン動画を見た感想としては、切り土より盛り土の方が多く感じた。盛り土が多い理由は何か。また、盛り土の土はどこから持ってくるのか。

A：盛り土の方が多いという認識はない。

土については、切り土の土を利用し盛り土にしている。基本はそれで足りているが、どうしても足りない場合は、県内の別の場所から持ってきている。

Q：道路の振動等で電気を作れる技術があると伺ったが、採用はしなかったのか。

A：まだ採用には至れる段階ではなく、検討段階。

Q：木更津東IC～市原IC間あるいは、千葉県の中心部である君津市からでも、外房へと繋げる予定はあるか。

A：まずは、現状の計画をしっかりと遂行する。その先は未定。

Q：富浦から先の予定はあるか。

A：予定はない。2車線を4車線にする計画はある。

4 所 感

圏央道が全線開通した際には、災害時の相互支援がより効果的となり、更なる素早い救助対応が可能となる。君津市は市域が広いため、市街化区域から山間部へだけでなく市外からの応援に駆けつけることができる大変有効な手段である。

また、イチゴ狩りを一例とし、市内の様々な場所に観光客が現在も訪れてくれているが、更なる増加を見込み、今後の経済活性化策の思案が楽しみである。

本視察は非常に有意義なものであり、市が取り組むべき重要事項の1つであると再認識した。君津市議会として農業の維持発展のため執行部や関係機関と連携を図り、さらには農業の担い手を創出できるよう取り組んでいく。

5 活用できるソース

千葉国道事務所「圏央道の概要」

<https://www.ktr.mlit.go.jp/chiba/chiba00295.html>

ネクスコ東日本「圏央道（大栄JCT～松尾横芝）の開通予定」

https://www.e-nexco.co.jp/activity/agreeable/open_schedule/kanto/keno05.html

6 視察の様子





鍋店株式会社 神崎酒造蔵

日 時：令和 6 年 3 月 2 8 日（木） 午後 1 4 時 3 0 分～

出席者：鍋店株式会社 代表取締役専務

鍋店株式会社 社員

1 概 要

- ・元禄 2 年（1689 年）鍋店は成田山新勝寺の門前に蔵を構え、酒造りを開始
- ・現在は田園の広がる香取郡神崎町に酒蔵を移し醸造
- ・平成 9 年より全て自社スタッフによる酒造りを開始
- ・直営店を神崎町と成田市にて運営

神崎町は「発酵の里こうざき」を商標登録（平成 25 年）し、老舗酒蔵である鍋店及び寺田本家をメイン会場に行う「発酵の里こうざき酒蔵まつり」で地域活性化に取り組んでいる。

実行委員長を神崎町長とし、町内外の人達と一緒に楽しい街づくりを目指す。

2 調査事項

酒蔵まつり及び酒蔵見学について

①事業概要

町内最大のイベントとなっている「酒蔵まつり」により地域活性化に取り組んでいるもの。また、通年開催されている酒蔵見学が、「発酵」をより身近に感じることができるものとなっている。

②事業の成果と課題

老舗の 2 蔵が独自に取り組んできた取組を 2009 年から合同で始めた。途中から実行委員長を神崎町長が担ったこともあり、加速的に盛大なイベントとなった。また、来場者数の影響により、臨時便を J R に要請し特別運行を実施することができた。

課題と捉えるか言い難いことであるが、想定以上の来場者数によりスタッフが対応し

きれない点や物品が早々に売り切れてしまい、品物が行き届かなかった来場者が出てしまった。

また、酒蔵見学においては不特定多数の人を受け入れることから様々な雑菌が蔵内に入るため、衛生管理に重点をおいている。

3 各委員からの質疑等

Q：町内人口を大きく上回る来客数である酒蔵イベントになった経緯と要因は何か。

A：最初の内はこんなに大勢来るようなイベントではなかったし、知名度もなかった。

取り組んでいるうちに、もっと発展的に取組みたいことから、実行委員長が神崎町長となったことにより、広報活動も大々的となり加速的に来場者数が増えていった。今回は5年ぶりということもあってか、過去最大の規模となり、自分達も驚いている。

Q：車で来る人も大勢いると思うが、駐車場確保等、交通手段に対するフォローはどのようにしていたか。

A：少し離れた場所とはなるが、広大なスペースがあり、臨時駐車場を確保したことにより、対応できたと感じている。また、臨時便の運行をJRに要請し、イベント日限定で増便対応してもらえたことも大きい。様々な面で地域活性に繋がっているのではないかと感じている。

4 所 感

酒蔵まつりは「発酵」をキーワードとし、地元事業者と市が一体となって取り組むことで町外（都心部からも出店があった）からの事業者も多く出店し、大きな賑わいに発展できた。

そして、良質な水を活かし長年に渡り酒蔵を経営しているという点において、本市も同条件下にある。本市においてもイベントを開催しているが、神崎町を参考として更なる取組を行うことで、久留里線の活性化及び地域活性化に大いに寄与できると感じた。

本視察は非常に有意義なものであり、現在の取組を更に注力すべき事項であると認識した。

君津市議会としても、執行部等と連携し積極的に取り組むことで、地域活性化をはじめとし、市の魅力をもっと発信できると感じた。

5 活用できるソース

鍋店株式会社HP「酒蔵見学」

<https://www.nabedana.co.jp/tour.php>

神崎町 HP「発酵の里こうざき「酒蔵まつり 2024」の開催について」

https://www.town.kozaki.chiba.jp/kanko_iju/kanko/sakaguramatsuri.html

6 視察の様子



『酒蔵まつり 2024 のマップ』

